

書店のための出版情報紙

Vol.20

BookLink

特集

「戦後80年」の今夏に80歳

絵本作家・五味太郎さん



page
2

五味太郎さんが語る

絵本づくりの思い 本屋さんへの期待

page
3

『ぼくは ふね』(福音館書店)

『たべたの だあれ』(文化出版局)

『かくしたの だあれ』(文化出版局)

『がいこつさん』(文化出版局)

『ぐう ぐう ぐう』(文化出版局)

『ぞうがいます』(文化出版局)

プレゼント企画

「本を買って当てよう!」スタート

page
4

『五味太郎 言葉図鑑① うごきのことば』(偕成社)

『まどから おくりもの』(偕成社)

『りょうこうにいこう!』(偕成社)

『もういちど そのことを、』(クレヨンハウス)

『百人一首ワンダーランド』(東京書籍)

オンラインコミュニティ「ほんのもり」





「戦後80年」の今夏に80歳

絵本作家・五味太郎さんが語る
絵本づくりの思い
本屋さんへの期待

Interview

数多くの人気絵本を生み出し、国内外で多くの賞も受賞してきた絵本作家の五味太郎さん。1973年に第1作となる絵本を発表してから400冊以上の作品を手がけ、今年5月にも「第30回日本絵本賞」の最高賞である大賞を『ぼくは ふね』（福音館書店）で受賞した。今も第一線で活躍している五味さんは、「戦後80年」の今年8月に80歳を迎える。それを前に、五味さんに絵本づくりにかける思いや書店への期待などについて聞いた。

絵本は子どもも読める本

— どのような思いで絵本をつくられていますか。

絵本を描き始めた頃から子ども向けとは意識しておらず、むしろ子どもも読める本という感じで描いています。初期の頃は出版社に原稿を持ち込んだりしていましたが、そこでも「子どもに何を伝えたいのですか」と聞かれ、「いや、特にないです」と答えていましたね。

実際、この10年間ほどで「絵本は子どものための本」という世間の意識も変わってきたと感じています。僕の講演会も今までは聴衆の8割方が女性と子どもで、大人の男性はほとんど後ろの方にいるぐらいでした。最近はちょっと様子が変わってきて、今年1月頃に宇都宮、前橋の図書館を回って話したときは男性も結構いました。絵本に興味を持つ大人の男性も増えているようです。

絵本を「子どもの本」だと決めつけてしまったら、もったいない。「見える」「考える」「感じる」という絵の原理を使った表現が面白くて、それを探っていたら、まだ5冊、6冊描いていたぐらいの時期に、海外から声がかかって、ほかの国にも伝わっていきました。意外と絵本的な表現ができる男だったらしく、気が付いたら50年経っていたという感じがですね。

— 表現したいことが絵本という形になっているのですね。

僕が絵本を描いているのは、言葉と絵がからんで何ページか展開していく、この表現が好きだからです。そもそも、本の形がとても好きなんです。もしかしたら、幼い頃の環境が影響しているのかもしれませんが。親父の部屋には本が積んであって、夜になるとタイプライターの音がしている。なんとなくかっこよくて、いままそういう世界に対する憧れが、どこかにあるんでしょうね。

本の良いところは、個人が書いて個人が読むという関係です。テレビとは違って、自分のペースで読めます。わからなくなったら3ページ前に戻るみたいなことが自由にできます。この感覚は貴重です。

紙の本は昔からありますが、例えば博物館で見ても、形は今とほとんど変わっていない。こんなに安定していて変わらない商品も珍しい。長い歴史を勝ち抜いた理想的なメディアですから安心できます。

面白い本屋さんが出てきている

— 書店にはよく行かれるんですか。

以前、東京・早稲田に住んでいた頃は、近くにたくさんの本屋さんや古本屋さんがあったので、回っていると面白い本を見つけて、喫茶店でお茶を飲みながら1日が潰れました。今は時間があるときに本屋さんに行って、面白そうな本を買ってきて積んでいます。

— いま全国で書店が減っています。

はっきり言って今の日本には、ぶらりと立ち寄って数時間いられる魅力的な本屋さんが少ないと感じますね。「海外がいい」とか言うのは好きではありませんが、海外に行った時、なんでこういう本屋さんが日本にもできないのかと、思われる本屋さんをたくさん見ます。去年の暮れ、久しぶりにクリスマスシーズンのニューヨークに行きましたが、やっぱり本屋さんのたたずまいが違います。人もいっぱいいましたし、長い時間を過ごせる場所でした。

日本でも面白い本屋さんがあれば、人は絶対に来るでしょう。最近は少しずつ若い人が面白い本屋さんを始めていますね。あれは「本って面白いよね」「本ってかっこいいよね」というウェブなんでしょう。東京・下北沢にある「本屋B&B」のスタッフを知っていますが、あの店は取次に任せず、本を彼らが選択しているから面白いのです。

— これまでの作家生活を振り返って。

絵本を読むのが好きな子どもも大人もいて、僕は彼らに向けて描いています。ただ、子どもは本気で読んでくれる一番すごい読者だと思います。彼らに見放されたらヤバイという感じで、「絶対に次のページをめくらせてやろう」「最後まで読んだら、もう一度読み返したくなるような構造を持たせよう」と思いながら描いています。

また、僕は初期の頃に、良い編集者と出会ってきたと思います。「五味さんがやりたいことを世の中に問いましょう」というスタンスの編集者と出会えました。すでにリタイアしている人が多いですが、作品を作るときに、判断基準の一つとして数人の編集者が浮かんできます。そんな編集者たちに出会えたのは、本当にラッキーでした。

— ありがとうございました。

(本紙『The Bunka News』2025年6月3日付掲載インタビューから抜粋)

ごみ・たろう 1945年東京調布市生まれ。桑沢デザイン研究所ID科卒。工芸デザイン、グラフィックデザインを経て、絵本を中心とした創作活動に入る。『みんなうんち』『きんぎょがにげた』(いずれも福音館書店)、『らくがき絵本』(プロンズ新社)など400冊を超える作品を発表。海外でも15カ国以上で翻訳・出版されている。サンケイ児童出版文化賞、ボローニャ国際絵本原画賞、路傍の石文学賞、日本絵本大賞など受賞多数。

五味太郎さん 出版社おすすめ作品

1973年に第1作となる絵本『みち』(福音館書店)を発表してから400冊以上の絵本、エッセーを手がけてきた五味太郎さん。作家活動は50年を超え、シンプルでのびやかな絵とわかりやすい言葉で構成される楽しい作品群は、世界各国で翻訳出版され、赤ちゃんから大人まで多くの人々を魅了している。各出版社が推薦する五味さんの作品を3、4面で紹介する。

福音館書店

『ぼくは ふね』 作:五味太郎

【第30回日本絵本賞大賞】受賞
五味太郎さん、絵本作家50年の
集大成

ちいさな船が海を進んでいくと、嵐で地面にのりあげてしまいます。悲しむ船に、「その気になれば、どこだって進める」と他の船が声をかけます。ちいさな船はその気になって、山や畑、街の中をどんどん進みます。

普段、知らないうちに何かにこだわっていませんか? 誰かと比べたりし



表紙:こだわりの“スリーブ付き”

ていませんか? あなたは、あなたのままでいい。子どもから大人まで勇気をもらえる一冊。スリーブ入りの特別な装丁。

□25×25cm/32頁/定価1,980円
ISBN978-4-8340-8773-4



表紙:スリーブなし



中面(1面)

文化出版局

どうぶつあれあれえほん
『たべたの だあれ』
『かくしたの だあれ』
作:五味太郎

三代、読み継がれている
ロングセラー

探し絵、あてっこ、数遊び……シンプルな構成の中に、楽しいおどろきがいっぱい。どうぶつの名前も覚えられたり、ページをめくるとに数が増えたり、大人でも何度でも読みたくなる飽きのこないコンパクトな絵本です。

1977年発行、翌年に第25回サンケイ児童出版文化賞受賞。『たべたの だあれ』はミリオンセラー。

□スキラ判/24頁/定価各660円

『たべたの だあれ』ISBN978-4-579-40022-5

『かくしたの だあれ』ISBN978-4-579-40021-8



『がいこつさん』 作:五味太郎
シュールな魅力が大人にも人気

がいこつさんが目をさしました。忘れていたことを思い出そうと街中を歩き回って、最後にデパートのトイレで……。なんだかかわいいがいこつさんのお話。

□A4判/32頁/定価1,430円

ISBN978-4-579-40156-7

『ぐうぐうぐう』 作:五味太郎
リズムカルな短い文章が楽しい

ぐうぐうと寝てばかりいるくじらくんがいました。ガールフレンドがきても、飛行機がぶつかっても、ぐうぐうぐう。ゆったりとした生き方が伝わります。

□A4変型判/32頁/定価1,100円

ISBN978-4-579-40158-1

『ぞうがいます』 作:五味太郎
ほかの人には見えない大切な存在

僕にしか見えないぞうが、いつも、僕を見守ってくれます。なぐさめてくれたり、勇気づけてくれたり……。 “ぞう”がいるから、どんな時でも僕は大丈夫。深く心にしみるストーリーです。

□A4変型判/32頁/定価1,650円

ISBN978-4-579-40405-6



プレゼント企画 「本を買って当てよう!」スタート

文化通信社は、書店で税込1,000円以上購入し、専用サイトからレシートを添付して応募すると、素敵なプレゼントが当たるキャンペーンを実施しています。全国のどの書店でのレシートでもOKです。書籍、雑誌、コミック、文房具など、書店で販売されるすべての商材が対象です(一部対象外あり)。

前回(2024年末)実施のプレゼント企画には、全国から約52,000件超の応募が寄せられ大好評でした。ぜひポスターを書店店頭に掲示し、お客様の購入促進にお役立てください!

※ポスターは前号(5月27日付)に折り込んでいます。ご入り用の書店は下記までお問い合わせください。

企画概要

キャンペーン名称:「本を買って当てよう!」

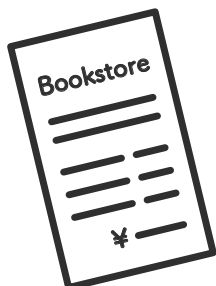
実施期間:~2025年9月15日/協賛企業数:24社/当選総本数:1215本

当選確定・発送:2025年11月中旬(当選は発送をもってかえます)

お問い合わせ先

株式会社文化通信社「本を買って当てよう!」事務局

メール: info@giftbooks.jp 電話:03-5217-7730(代)



詳細など
特設サイトも
OPEN



偕成社

『五味太郎 言葉図鑑①
うごきのことば』

監修・制作:五味太郎

日本語の楽しさ、おもしろさがいっぱい!

日本語の楽しさ、おもしろさがぎゅっとつまった「言葉図鑑」シリーズの1巻目。人や物の動作・作用を表す言葉である動詞をなんと570語も収録しています。絵をながめて、言葉を口に出して、いろんな楽しみ方ができます。

□縦310mm×横250mm／36㌘／定価1,760円
ISBN978-4-03-343010-2



『まどから おくりもの』

作・絵:五味太郎

まどのむこうに見えたのは…?

まどの中にちらっと見える姿を見て、サンタさんはその子にあったおくりものを選んでくれます…。でも…なんかちょっとちがうかも…? シンプルな穴あきのしかけに惑わされます。みんなが笑顔になれる本です。

□縦230mm×横240mm／36㌘／定価1,100円
ISBN978-4-03-338030-8



『りょうこうにいこう!』

作・絵:五味太郎

みんなもいっしょにでかけましょう!

りょうこうにいってきまーす! るすばん、よろしく! とでかけたのは、なんと「おうち」。家族みんなが旅行に行っている間に、実はおうちもおでかけして楽しんでいたのです! 世界は知らないことばかり。夏休みのご旅行前にぜひ。

□縦220mm×横210mm／32㌘／定価1,540円
ISBN978-4-03-350390-5



クレヨンハウス

『もういちど そのことを、』

作・構成:五味太郎／写真:寺崎誠三

「Think about……」

五味太郎さんが、旧知の写真家・寺崎誠三さんの写真に「一筆」加えて構成したのが、この写真絵本『もういちど そのことを、』。スニーカーや大きな葉っぱ、曲がったクギや目つきの鋭いネコなんかに目を向けると「はっきりといる」、あるいは「なぜか ときどききく」。それが何なのか、ことばや写真にはっきりと示されているわけではないけれど、読み終わったあと、ふだんの景色を見ながら「もういちど そのことを」考えたいくなる一冊。

表紙には「Think about it once more, Merry Xmas to you.」というメッセージカードが。そう、じつはクリスマス



マスの絵本でもあるのです。「80歳の五味さんからのクリスマスプレゼント」と思って、五味さん好きのあのひとへの贈りものにするのもオススメです。

□A4変形／本文24㌘／定価1,320円
ISBN978-4-906-37931-6



東京書籍

『百人一首ワンダーランド』 絵・文:五味太郎

見て、読んで、遊んで、楽しみながら覚えちゃう!

五味太郎描き下ろしの大きな一枚絵を折り込み式にし、和歌が詠まれた時代風景を百首とともに眺めて楽しめる「百人一首絵巻」。歌の解釈や時代背景をエッセイとともに、わかりやすく楽しく説明する「解説書」。そして、これまた五味太郎描き下ろしの「取り札・

読み札」。

これら全部がセットになった、まさに百人一首ワンダーランド。また百首読み上げ音声も、当社HPから無料ダウンロードが可能。

□B5変形函入／税込価格3,850円
ISBN978-4-487-80880-9



絵巻、解説書、取り札・読み札、全部入り!

著名人、著者、作家、
編集者、書店員…
本好き、読書好きと
つながる、交流できる

ほんのもり

本で心に豊かな森をつくらう

「ほんのもり」は、本好きのためのオンラインコミュニティ。語り合い、情報を分かち合い、イベントでつながる場です。読書は、気づきと出会いの旅。

本をひらけば、森を歩くように心が広がります。プロの推薦本や交流を通じて、新しい本との出会いも。

ここでしか得られない、本の楽しみ方があります。さあ、本の森を育てる旅へ。あなたも一緒に。



幅允孝さん



五味太郎さん



加来耕三さん



ギャル曽根さん



工藤紀子さん

など

ナビゲーターの幅允孝さんをはじめ、
多彩なゲストによるトークセッションも開催!

本好きな仲間同士の会話や交流が、
新たな一冊との出会いにつながる

オンラインコミュニティ
「ほんのもり」

株式会社 文化通信社



第1期会員募集中
月会費
3,300円(税込)
詳細は上のQRコード
からご参照ください。